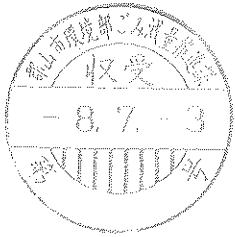


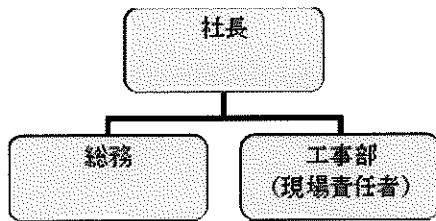
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2026 年 6 月 30 日	
福島県知事	殿
	提出者
	住 所 郡山市喜久田町字双又33-12
	氏 名 株式会社 渡建
	代表取締役 渡部 俊二
	電話番号 024-983-4677
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 渡建
事業場の所在地	郡山市喜久田町字双又33-12
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 1730万円
③ 従業員数	15名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事業 がれき類、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、木くず、繊維くず、紙くず、廃プラスチック類、廃石膏ボード等 → 委託処分（選別・破碎・リサイクル・リサイクル不可の場合は焼却・埋立て）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 7年度）実績】		【別紙のとおり】
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・混合廃棄物の排出を抑え、リサイクル可能な状態で中間処理施設へ搬入するようにしている。		
②計画	【目標】		【別紙のとおり】
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・分別の徹底（現状維持） ・従業員が増加し現場数が増えた場合に、どのような産業廃棄物の排出の抑制ができるのかを検討していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラスチック類 → 軟質、硬質に分別し、再利用できるような状態で搬入するようにしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃棄物として処理するもの、有価物として売却できるものへの分別を検討している。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 7年度）実績】		【 別紙のとおり 】	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			

(第5面)

②計画	【目標】		【別紙のとおり】	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

【 別紙 】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○ 現状 前年度(令和7年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	混合廃棄物	合計
排出量 (t)	882.256	17.24	83.14	1.54	39.71	2.06	0.689	1,026.635

○ 計画

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	混合廃棄物	合計
排出量 (t)	882.256	17.24	83.14	1.54	39.71	2.06	0.50	1,026.45

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現状 前年度(令和7年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	混合廃棄物	合計
全処理委託量(t)	882.256	17.24	83.14	1.54	39.71	2.06	0.689	1,026.635
優良認定処理業者への処理委託量	—	0.590	—	—	—	—	—	0.590
再生利用業者への処理委託量	882.26	16.65	83.14	1.54	39.71	2.06	0.689	1,026.045
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—

(これまでに実施した取組)

・発生量の多いがれき類について、再生利用業者と処理委託契約書を締結し、リサイクルを推進してきた。

○ 計画

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	混合廃棄物	合計
全処理委託量(t)	882.256	17.24	83.14	1.54	39.71	2.06	0.50	1,026.45
優良認定処理業者への処理委託量	—	0.6	—	—	—	—	—	0.60
再生利用業者への処理委託量	882.256	16.64	83.14	1.54	39.71	2.06	0.50	1,025.85
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	0.00

(今後実施する予定の取組)

・優良認定処理業者との処理委託契約の締結推進に積極的に取り組んでいく。